

令和元年度「わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業」事業実績報告書(実施市名)

1 教育・保育の現状と課題

市の教育・保育の課題

- (1) 臨時（保育補助）としての期間が長かったり、保育現場から長年離れていて人事異動によって保育現場に戻ってきた職員もあり、各年齢層での経験にばらつきがあり、若手への指導に自信が持てずいたり、子どもの内面を読み取ることや、指導案の書き方に悩んでいる保育者がいる。中堅保育者の育成、保育者の質の向上に向けて、園内研修の充実が課題である。
- (2) 市内各園が小学校と交流はしているが、公開保育や公開授業へは参加するが、その後の協議までは参加しない園や、授業体験まで行っている園も有るなど、園によって取り組み状況に差がある。幼小の円滑な接続を考えた時、教育委員会と連携した相互理解のための体制作りが課題である。

2 目的、重点、実施内容

目的(3年間)

社会や保育の変革に対応し、教育・保育の質の向上、教職員の資質向上、園内リーダーの養成等は重要である。そのためには教育・保育アドバイザーを継続配置することにより、市としての幼児教育推進体制を機能させ、本市の抱える教育課題の解決に向けて一層の指導や支援をしていく。

重点(令和元年度)

就学施設の巡回により、信頼関係の構築を図る。園の課題を明確にしながらい指導援助を行うほか、保育実践を見直しスキルアップを図る。

実施内容(令和元年度)

- (1) 部局間連携による教育・保育推進体制の充実（幼小接続の連携体制の強化）
  - ・教育総務課（小学校教育指導担当課）と子育て推進課（就学前教育保育担当課）との連携体制の確保
- (2) 教育・保育アドバイザーによる園の支援（園内研修、保育実践）

①アドバイザーの配置人数	②主な経歴	③主な業務内容
教育・保育アドバイザー1名	元認定こども園長	園訪問による指導、研修会での指導及び企画・運営、幼小接続に関する調査、保育者面談
④ 派遣対象施設／地域		⑤ 派遣期間
保育所（公立）、幼保連携型認定こども園（公立・私立）、その他（事業所内保育施設、家庭的保育施設）（公立・私立）、小学校／仙北市		令和元年6月～令和2年3月
⑥ 派遣目標 計8施設／全8施設 138回		
回数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園：私立1園（1回）</li> <li>・保育園：市立3園（50回）</li> <li>・幼保連携型認定こども園：市立3園、私立2園（77回）</li> <li>・その他の施設：（事業所内保育施設、家庭的保育施設 3か所（3回））</li> <li>・小学校：7校（7回）</li> </ul>	
	訪問内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修支援（保育改善、テーマ別、研修方法、研修計画）（目標のうち、8園（40回））</li> <li>・保育園要請訪問（運営・準備）（目標のうち、3園（6回））</li> <li>・個別相談（保育者の面談及び指導等、園の課題解決対応等）（目標のうち、8園（50回））</li> <li>・状況把握（保育の状況観察、園長等への聞き取り調査）（目標のうち、8園（8回））</li> <li>・周知活動（広報紙等での取組経過の伝達、事業内容説明）（目標のうち、12園（12回））</li> <li>・県と同行（指導方法研修、園の課題共有、指導内容の明確化）（目標のうち、5園（7回））</li> <li>・幼小接続（幼小接続に関する調査及び事業等）（目標のうち、7校（7回））</li> <li>・特別支援訪問（目標のうち、8園（8回））</li> </ul>
理由	派遣目標として、各園月1回以上訪問指導し、園の実態把握・課題調査をし、保育の質の向上を図る。 2月の研究発表園に関しては、資料準備、まとめ等に指導主事からの助言・指導をいただきながら進める。また、その他の施設には情報提供をしながら訪問機会を増やしていく。	
⑦ 派遣体制		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザーが単独で訪問</li> <li>・指導主事等との同行</li> </ul>		

<p>(3) 職員の専門性の向上のための研修の充実と地域で学び合う体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前施設の課題に応じた研修会や公開保育研究会の実施</li> </ul> <p>(4) 小学校教育との円滑な接続に向けた研修（取組）の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼小連携に関する研修会、教職員の体験事業の実施、幼保小自主事業の支援</li> </ul> <p>(5) 県との連携体制を活用した教育・保育アドバイザーの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県の幼児教育推進協議会へ参加（行政担当、市教育・保育アドバイザー）</li> <li>・県のアドバイザー連絡協議会へ参加（市教育・保育アドバイザー）</li> <li>・南教育事務所総務・幼保推進班指導主事や県教育・保育アドバイザーと園の課題解決や研修会運営のための情報共有</li> </ul>
--

### 3 令和元年度の実施状況

#### (1) 教育・保育アドバイザーの配置

◇教育・保育アドバイザーの施設訪問状況(平成31年4月～令和2年3月)							
	幼稚園	うち、幼稚園型 認定こども園	幼保連携型 認定こども園	保育所	うち、保育所型 認定こども園	※その他 保育施設	小学校
市内施設・校数	1園	園	5園	3か所	園	か所	7校
訪問施設・校数	1園	園	5園	3か所	園	か所	7校
訪問回数	1回	回	78回	49回	回	回	6回
月平均訪問回数	回	回	回	回	回	回	回
その他：事業所内保育所2カ所 家庭的保育事業所1カ所							
目的	教育・保育アドバイザーの役割を周知しながら、各施設の状況を把握する。 教育・保育アドバイザーの専門性を向上させる。						
実施状況	1 教育・保育アドバイザー1名を配置（指導・助言体制の構築） 2 市内の就学前施設への巡回訪問をする。 ・信頼関係の構築を図りながら、園の実態、課題を探る。 ・園内研修（指導・助言）を実施する。 3 園のニーズに応じた研修会の実施 保育実践力向上のための研修会を実施する。 4 小学校との円滑な接続に向けた取り組みに努める。						

#### (2) アドバイザーの配置（指導・助言構築）

目的	園の実態や課題の把握に努め、保育者との信頼関係の構築に努める。 各園の研修に応じて訪問、学び合う体制づくりに努める。
実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各園、小学校に対し事業の周知を行った。</li> <li>・園の実態、課題を把握する。 （園長、保育者との話し合い等）</li> <li>・保育についてのアドバイス実施</li> <li>・支援を必要とする子どもに対して（聞き取り、情報提供等）</li> <li>・保育の指導計画作成（子どもの姿、ねらい、環境の構成等）へのアドバイスを実施</li> <li>・園内研修に参加する。 エピソード記録を用いた研修 保育参観後KJ法での研修 園のテーマに基づく研修</li> </ul>

<p>実施状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用研修に関わる実践について関わる</li> <li>・中堅教諭資質向上研修について関わる</li> <li>・大・仙・美研究発表に向けて関わる</li> </ul> <p>保育参観 研究の取り組みについて 研究資料作成について</p>	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>主体的に遊ぶ子どもをめざして ～角館西保育園～</p> </div>
-------------	--	---



### (3)職員の専門性の向上のための研修の充実

<p>目的</p>	<p>乳幼児の発達理解に基づく指導計画の作成を学びながら、保育者の専門性を高める</p>					
<p>実施状況</p>	<p>○R1. 12. 12 (木) 第1回保育研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講話「教育及び保育の基本から指導計画の作成へ」 講師 秋田県教育庁南教育事務所 指導主事 石山 潤 氏</li> <li>・講義・演習「指導計画作成の実際」～週案を中心に(3歳以上児)～ 講師 秋田県教育庁南教育事務所 指導主事 石山 潤 氏</li> <li>・講義・演習「指導計画の作成は難しい」～未満児の指導計画～ 講師 秋田県教育庁南教育事務所 幼保指導員 伊藤 トシ子 氏</li> </ul> <p>参加者 57名(以上児27名)(未満児30名)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> <p>アンケート結果 回答数57(回収率100%)</p> </div>					
	参加数	① 満足	② やや満足	③ やや不満	④ 不満	備考
	全体 57	46/57 (80.7%)	11/57 (19.3%)	0/57 (0%)	0/57 (0%)	
	未満児 30	23/30 (76.7%)	6/30 (20.0%)	1/30 (3.3%)	0/30 (0%)	③もっと聞きたかった
	以上児 27	21/27 (77.8%)	6/27 (22.2%)	0/27 (0%)	0/27 (0%)	
	<p>&lt;参加者の声&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仙北市で行うことで、たくさんの先生達が研修できる機会だったと思う。このような研修を市で重ねていけば、少しでも職員の質向上につながっていくと思う。</li> <li>・子どもの姿をしっかり見ること、どこに視点を置くべきか、どこを意図して環境の構成や保育者の援助を書くか、それらはすべてにつながっているということの大切さを改めて学ぶことができた。</li> <li>・市主催の研修会は、初めてだったので研修が増えると良いし、また開いてほしい。</li> </ul>					
<p>○R2. 2. 13(木)第2回保育研修会</p> <p>講師 秋田県教育庁南教育事務所 幼保指導員 伊藤 トシ子 氏</p> <p>参加者 40名</p> <p>○R2. 2. 18(木)第3回保育研修会</p> <p>講師 秋田県教育庁南教育事務所 幼保指導員 伊藤 トシ子 氏</p> <p>参加者 32名</p>						




### (4)小学校教育への円滑な接続に向けた取り組みの充実

<p>目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの学びや発達の過程を支援していくことができるよう、子どもの育ちを共有し学び合う。</li> <li>・保育公開により、各園の良さや課題を明確化するとともに近隣の園や小学校と地域で学び合う体制を構築する。</li> </ul>
-----------	---

<p>実施状況</p>	<p>○仙北市教育委員（小・中・認定こども園訪問）に同行する。                  7月3日（水）にこにこども園・ひのきないこども園・桧木内小学校                  7月4日（木）角館こども園・中川小学校                  7月5日（金）生保内小学校・神代こども園                  7月9日（火）白岩小学校・西明寺小学校・だしのこ園・角館小学校                  ○小学校との交流内容、幼小接続に向けての計画の聞き取りをする。                  ○公開保育（角館こども園5歳児）                  11月19日（火）                  参加者（角館小学校校長、神代こども園2名）                  保育参観                  園内研修（保育の振り返り、KJ法で話し合いをする）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>5歳児を参観～角館こども園～</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>KJ法での研修～角館こども園～</p> </div> </div>
-------------	--

(5)教育・保育アドバイザーの資質能力の向上

<p>目的</p>	<p>園や保育者の課題に応じた研修ができるよう、研修方法を学んだり、内容を習得したりしながらアドバイザーの専門性を目指す。</p>
<p>実施状況</p>	<p>○指導主事要請訪問及び指導主事計画訪問に同行する。                  要請訪問3園、認定こども園5園                  指導方法を参観し、指導主事訪問後にも関わる</p> <p>○アドバイザー連絡協議会（6回）                  幼保推進課所管研修等に参加し情報共有、指導ポイントを習得する。</p> <p>○他市のアドバイザーとの交流、研修会に参加する。                  横手市（2回）                  男鹿市（1回）                  潟上市（1回）</p> <p>○研究発表園の実践に関わる研修会に参加する。                  園、保育者への助言方法を学ぶ。</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>～指導主事計画訪問同行～                  保育の振り返りから10の姿を意識する                  （ひのきないこども園）</p> </div>

4 事業の成果及び今後の課題、改善の方策

(1) 教育・保育アドバイザーの配置 ※事業概要の実施内容に沿ったタイトル

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>抱えている課題や悩みに対して、別の視点から考え方や見方ができるという意識が広がっている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各園の課題は多様で、全てに対応することは困難である。</li> <li>保育者の研修・スキルアップが求められる。実践経験があまりない場合、深いところまで踏み込めない。</li> </ul>
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育者、一人一人に応じた対応が求められることも大きく、人数的な対応や日程、時間等の調整が難しい。アドバイザー自身の保育観や経験論からの助言になることもあるので、アドバイザーの人材育成及び配置人数を検討することが必要と思われる。</li> <li>各園が努力している所や工夫して取り組んでいる所を見つけるようにアドバイザー自身も努力し、保育の見直しや改善になるようなアドバイスを心がけるように努める。</li> </ul>

(2)アドバイザー配置(指導・助言の構築)

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修に参加できる保育者が増え、園内研修が活性化している。</li> <li>異なる園等で学びを共有しようとする意識が高まり、実践している。</li> <li>他園からも、保育を参観しあう土壌ができていることは保育者にとっても質の向上につながり相乗効果が大きい。</li> <li>自分達が悩む問題に対して、アドバイザーから解決方法のヒントを得られるなど頼れるという安心感が出てきた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各園で抱えている課題は様々であるため、園内研修の内容にも差が見られる。</li> <li>支援を必要とする子どもの多様化に伴う保育や保育者の配置も課題と捉えたい。</li> </ul>
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>各園の保育者が、外部研修で学んだことを生かしたり、保育者がやってみたいことを実現できたりするような研修体制に努めていく。</li> <li>アドバイザーの役割や活用の仕方を理解してもらいながら、園の課題や保育者に添って解決の方向性を見出すことができるような支援をしていく。</li> <li>園内研修では、いろいろな意見を出せることはとても大事なことであるが付箋を使用する時にどんなふうに記載するか、研修の進め方とともに提示する必要がある。</li> <li>0～5歳児の学びの連続性、乳幼児期の育ちの大切さ等を考えた時に保育者の人数、有資格者等行政面から考えていかなければならないことも大きい。</li> </ul>

(3)職員の専門性の向上のための研修の充実

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>仙北市の研修によって、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、保育所保育指針をよく読み、子どもの内面理解や指導計画に生かそうとする意識が高まっている。</li> <li>身近な場所で開催したことで、多くの保育者の参加と同じ研修を通して共通理解ができた。</li> <li>アンケートを実施したことで、自らの保育を振り返る機会を提供できた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>講義・演習の時間配分を考える必要がある。</li> <li>保育者自身の課題に応じた研修だったのでより参加希望が多くなったが、研修を受けたい意欲を考えると日程調整がむずかしい。(土曜日に開催すると振休、勤務外に実施すると時間外の問題等)</li> </ul>
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験年数や課題に応じて、効果的な研修ができるように研修体制を整え充実を図る。</li> <li>幼小合同で参加できる研修会を開催し、「幼児期のおわりまでに育てほしい姿」を具体的に共有する場を提供していきたい。</li> </ul>

(4) 小学校教育への円滑な接続に向けた取り組みの充実

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区ごとに連携体制の構築が図られているという良い面がある。アドバイザーの配置により、教育委員会の学校訪問に同行することができ、各小学校の授業参観及び学校経営説明を聞き、隣接する園に情報を提供できたことで、さらに良い面を意識できている。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校、園の交流は毎年行っていて基盤はできているが地域によっては、取り組みの内容（1年生の担任と年長児の保育者がそれぞれの職場体験をしている学区。園内研修の中で小学校と園の職員で子どもの姿を話し合っている学区。参観しても話し合いは行っていない学区）など差が大きい。</li> <li>・幼小連携の大切さは、双方で認識しているものの行事や時間調整がからみ、なかなか進展しない状況にある。</li> </ul>
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各園で取り組んでいる良い面は継続しながら、他園にも取り組み方等を情報提供するなど、引き続き継続していく。</li> <li>・各園からの幼小連携課題を明確にするとともに、部局間連携にも働きかけていく。（教育委員会、子育て推進課との連携体制の構築）</li> </ul>

(5) 教育・保育アドバイザーの資質能力の向上

成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門的知識を蓄積することで、保育者からの課題や悩みを一旦受け止め、リフレーミングで助言していこうという気持ちが出てきた。</li> <li>・研修で得た情報や資料を園に配布し、活用してもらうことができた。</li> <li>・保育参観の視点や助言の仕方を学ぶことで、園内研修で活用できた。</li> </ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当の指導主事との連携を取れる時間や日程調整が難しかった。</li> <li>・園や保育者の課題に適切な助言ができるようになることが大きな課題である。</li> </ul>
改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事のスケジュール調整を図りながら、計画的に進めていく必要がある。</li> <li>・研修に参加しながら、自己研鑽に励む。</li> </ul>

5 令和2年度の事業の構想

<b>目的</b>
<p>令和元年度に引き続き、県と連携した教育・保育アドバイザーの育成、教育・保育アドバイザーによる園の支援を実施する。</p> <p>また、当市の教育理念「未来に向けた人材育成するための教育」を目標とした「幼児教育と小学校教育の円滑な接続」を推進し、子どもの育ちと学びの相互理解を基盤とした取組の充実を図る。</p> <p>保育者自身が自分の保育を振り返り、子どもを理解し実践しようという意識が向上してきている。この向上意識を継続させるために、研修の進め方や保育者の意見が反映されるような研修プロセス形成にアドバイザーが長期的に関わることによって、園内研修を充実させていくことで、園が抱える課題や園目標にせまりたい。</p> <p>幼小連携変革に対応し、教育・保育の質の向上、教職員の資質向上、園内リーダーの養成等は重要である。そのためには教育・保育アドバイザーを継続配置することにより、市としての幼児教育推進体制を機能させ、本市の抱える教育課題の解決に向けて一層の指導や支援をしていく。</p>
<b>実施内容</b>
<p>(1) 部局間連携による教育・保育推進体制の充実（幼小接続の連携体制の強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育総務課（小学校教育指導担当課）と子育て推進課（就学前教育保育担当課）との連携体制の構築</li> <li>・教育委員学校訪問に学区内保育施設の園長も同行できるように調整を図る</li> </ul> <p>(2) 教育・保育アドバイザーによる園の支援（園内研修、保育実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て推進課に教育・保育アドバイザーを配置し、定期的な就学前施設訪問による園内研修支援</li> </ul>

(3) 職員の専門性の向上のための研修の充実と地域で学び合う体制づくり

- ・就学前施設の課題に応じた研修会や公開保育研究会の実施
- ・経験年数や課題に応じた市独自の研修を充実させていく
- ・ファシリテーター研修、保育補助者研修会、新人研修を新たに行う

(4) 小学校教育への円滑な接続に向けた研修（取組）の充実

- ・園内研修に参加して、小学校との接続について一緒に考えていく
- ・幼小連携に関する研修会、教職員の体験事業の実施を支援

(5) 県との連携体制を活用した教育・保育アドバイザーの育成

- ・県の幼児教育推進協議会、アドバイザー連絡協議会へ参加
- ・南教育事務所指導主事や県教育・保育アドバイザー、他市アドバイザーとの相互研修、情報共有